

## 1「安全で安心して暮らしやすいまちづくり」

**住まい再建** 被災者の皆さまの生活再建は、本町にとって最重要課題です。生活再建の基盤である「すまいの再建」のための災害公営住宅が3月中に全て完成し、入居予定者には鍵をお渡ししています。一方で、自宅の再建や災害公営住宅への入居が進むと、6月には応急仮設住宅の入居世帯が110戸程度まで減少する見通しになりますので、木山仮設団地へ集約していきます。

## 益城町通学路防犯カメラ設置事業

施政方針で報告した防犯カメラの設置について紹介します。

この事業は、子どもが巻き込まれる悲惨な事件の発生が全国的に相次ぎ、地域住民から不安や防犯対策の声が上がったため、国からの支援事業を活用し実施しました。

「①町内各学校からの要望」「②警察など関係機関との合同点検」「③犯罪発生を考慮した効果的な場所」の3点から設置箇所を決定し、町内50カ所の電柱や防犯灯柱などに設置しました。4月から運用を開始しています。 間危機管理課 ☎ 286-3210



- ・法令に基づく場合や生命・身体・財産の保護のための緊急の場合などに画像を使用し、目的外の使用は行いません。
- ・(常時)監視のためではないので、映像データを見るための監視モニターは設置しません。

**消防・防災対策** 被災した消防団詰所の建て替えや益城西原消防署の水槽付きポンプ車の更新などをを行い、災害に強いまちづくりを目指していきます。

**環境対策** 熊本連携中枢都市圏の関係自治体と連携し、地球温暖化対策実行計画策定に取り組んでいきます。また、ごみとし尿の処理について、上益城郡5町で構成する熊本中央一般廃棄物処理施設整備促進協議会が、新施設の用地取得に着手します。

**健康づくり** 令和2年度から「ましき健康づくり応援ポイント事業」を開始し、町民の皆さまの健康の維持・増進を図ります。併せて、高齢者や障がい者の皆さまには、今後もニーズに沿った適切なサービスを提供していきます。

**子育て支援** 「子ども家庭総合支援拠点」を、令和2年度に設置の準備を開始し、令和3年度中の開設を目指します。保育所の待機児童についても、計画的に施設の整備やサービスの充実を行い、解消に努めます。

## 3「個性と創造力を育むまちづくり」

**学習支援** 本町独自の取り組みである「いきいき益城つ子育成事業」や「ドリーム益城つ子事業」の実施、各小学校の「特別支援教育支援員」や「医療支援員」の配置を引き続き行い、特別支援教育の充実に努めます。震災ダメージを受けた子どもたちの心身面の支援についても、心のケアを行っていきます。また、コミュニティ・スクール

## 4「自然と調和した活力に満ちたまちづくり」

**地域活性化** 町の土地利用の指針となる「都市計画マスター・プラン」を示し、

さらに、持続可能なまちづくりの実現に向けた「立地適正化計画」を策定し、新たなまちづくりに取り組みます。市街地周辺部や集落部の地域振興は重要な課題であり、地域再生計画策定も視野に入れ、地域活性化を図ります。

**復旧事業** 道路・河川は98%の工事契約が完了しています。復旧整備予定の

なお、安永、福富地区で進めている内水対策については、令和2年度に排水ポンプ場の整備を進め、令和3年度から稼働を目指しています。

**防犯対策** 児童や生徒を犯罪から守るために、防犯カメラを通学路50カ所に設置しました。令和2年度から運用を開始します。

元地域の人との顔合わせ会やワークショップを開催し、団地内で生活するうえでのルールづくりや自治会組織づくりを行っています。さらに、入居者の不安を少しでも和らげるため、関係機関などと連携しサポートします。仮設団地の集約後に引き続き入居される皆さまには、一日も早い住まい再建ができるよう、地域支え合いセンターなどと連携し、それぞれの世帯に寄り添った支援を行います。

元地域の人との顔合わせ会やワークショップを行っています。生涯学習については、さまざまな講座を再開することにより、町民の皆さまに学習機会を提供していきます。

**町有施設** 熊本地震で被災した益城中学校は、令和2年度末の完成を目指し、建設に取り組んでいます。交流情報センターミナテラスは3月末で工事が完了しており、文化会館は令和2年度末の工事を完了を目指して復旧工事を進めています。総合体育館も3月に完成し、7月から供用を開始します。今後は、関係団体と協力し、町民の皆さまが運動する機会を提供していきます。

**文化財** 「布田川断層帶」の保存と活用に取り組み、さらに、「四賢婦人記念館」がある潮井自然公園整備計画の見直しやアクセスマートを検討し、教育旅行・観光の拠点となるよう整備します。